

令和5年度 第3回 社会教育委員会議 議事要旨

会議の名称	令和5年度 第3回 社会教育委員会議		
開催日時	令和6年3月22日（金） 18時30分から21時00分まで		
開催場所	広陵町役場 3階 大会議室		
出席委員の氏名及び人数	田畠美知香 議長、阪口充弘 副議長、岡田誠治 委員、河村円 委員、吉村真知子 委員 計5人		
出席職員の職、氏名及び人数	教育長 植村佳央、教育振興部長 村井篤史 生涯学習文化財課：課長 尾崎充康、係長 平岡禎啓 主事 鶴山真委、参与 吉村昌代 スポーツ振興課：課長補佐 伊藤哲 図書館：館長 尾藤肇子 計8人		
公開・非公開の別	公開	傍聴者	0人
議題			
<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 主要な事業の結果報告について <ol style="list-style-type: none"> ア 生涯学習文化財課 イ スポーツ振興課 ウ 図書館 (2) 社会教育委員会議発行冊子の作成について (3) 令和6年度世代間交流事業について (4) その他 5 事務連絡等 			
会議の記録（要旨）			
発言者	発言要旨		
1 開会			
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配付資料確認 		
2 議長あいさつ			
議長	<p>参会謝辞。</p> <p>12月の世代間交流事業は、人は思ったほど集まらなかったかもしれないが、楽しく過ごせたという声があってよかったのかなと思う。今年も、少し趣向を変えることになると思うが、世代間交流事</p>		

	業もあるし、素敵な冊子も作っていききたいと思う。今年もよろしく お願いしたい。
3 教育長あいさつ	
教育長	<p>参会謝辞。</p> <p>先ほど課長から申し上げたが、本日の社会教育委員会議において は、主要な事業の結果報告として、生涯学習文化財課から「文化祭 の結果」「二十歳のつどいの結果」「世代間交流事業の結果」「広 陵町生涯学習セミナーの結果」。スポーツ振興課から「第2回スポ ーツフェスティバルの開催結果」。中央公民館から、開館50周年 記念として「ロビーコンサート・ロビー展の開催報告」。図書館から 「まちじゅう図書館」「学校図書館のシステム連携」についてそ れぞれ報告を願う。また、社会教育委員会議の発行冊子について、 岡田委員を中心にやっていただいていると思う。第4弾になる。こ のことでこれからご審議いただきたい。後は、来年度の世代間交流 事業についてご審議いただけたらと思う。この後、時間に限りはあ るが、しっかり審議いただきたい。よろしく願います。</p>
4 議事	
(1) 主要な事業の報告について	
議長	<p>それでは、皆様のご協力をいただきながら、議事を進めたい。 まず議題の1番、主要な事業の報告について、事務局に説明願 う。</p>
事務局	<p>それでは、主要な事業の報告として、生涯学習文化財課、スポ ーツ振興課、図書館から順にご報告申し上げます。</p>
事務局	<p>資料1-1「第62回広陵町文化祭開催結果」に基づき説明。</p>
事務局	<p>資料1-2「令和6年広陵町『二十歳のつどい』開催結果」に基 づき説明。</p>
事務局	<p>資料1-3「令和5年度世代間交流事業開催結果」及び資料1- 4「令和5年度広陵町生涯学習セミナー開催結果」に基づき説明。</p>
事務局	<p>資料1-5「第2回広陵町スポーツフェスティバル開催」及び資 料1-6「広陵中央公民館ロビーコンサート・ロビー展開催実績」 について説明。</p>
事務局	<p>資料1-7「まちじゅう図書館・学校図書館システム連携」につ いて説明。</p>
議長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何かご質問やご意見は。</p>
委員	<p>世代間交流事業は子どもの参加が少なかったが、スポーツフェス ティバルの参加者は、どのような年代であったか。また、体力測定</p>

	は年配の方も参加されているのか。年齢構成があれば知りたい。
事務局	<p>まず、スポーツフェスティバルの参加者は、0歳から10歳までが124名、11歳から20歳までが34名、21歳から30歳までが4名、31歳から40歳までが67名、41歳から50歳までが53名、51歳から60歳までが25名、61歳から70歳までが30名、70歳以上の方が17名、未回答3名となっている。参考に最高齢は86歳。小学生の参加は約4割となっており、比較的ファミリー層の参加が多かったと思う。男女比は、男性171名、女性183名、未回答3名だった。</p> <p>10歳までの男女比は、男性61名、女性63名である。</p>
議長	他に何かご質問やご意見は。
委員	<p>先日、広陵町の文化芸術推進審議会があり、私も社会教育委員の立場で出席した。その中で非常に厳しい意見があり私自身、身が引き締まる思いをし、社会教育委員会でもしっかりと取り組まなければならないと思っているところである。1つは文化展覧会の出展者が高齢化してきているということ。大半が60歳以上、活動発表会にしてもほとんどが高齢者で若者が少ないという印象である。広陵町文化祭は町主催のイベントの中でも規模が大きい方だと思うが、若者の参加を増やす施策を講じないと次世代に繋がらない。具体的な施策は活動発表会の実行委員が考えるのか、それとも社会教育委員会が提言をするのか、若しくは事務局が動くのか。いずれにせよ何か改善をしなければ。同じ意見が出てくると思うが、いかなものか。</p>
事務局	<p>公民館で活動されている方々の年齢層からして偏りがあることが最大の原因と考える。特に活動発表は公民館育成クラブの方の発表となっている。広陵町内では、公民館活動だけではなく他所で文化芸術活動をされている方もおられる。そういった方々が出演できるような機会を設けることで、若年層の参加を図るのも一つと考える。また、文化展覧会についても従前の部門構成にとらわれず、デジタル作品や漫画、イラストなど若年層が親しみやすい部門を創設するなど、探りながら幅広く考えていきたいと思う。</p>
議長	他に何かご質問やご意見は。
副議長	<p>先ほどの年齢層に関連してだが、まずは、地域的に公民館育成クラブは、中央公民館のみで活動されている方々なので、真美ヶ丘地区の方が来にくいなどがあるかもしれない。もう少し幅広い地域で文化芸術活動を推進できないか。</p> <p>もう一つは、20代から50代のいわゆる現役層の参加が少ない。中にはそういう世代の参加が多いイベントも見受けるが、それはほとんどがお子様と一緒に来られている。その場合は、お子様がいらない方や独身の方の呼び込みが弱いかなと感じるので、そういった方々を呼び込めるようなことも考えていただけたらと思う。</p>
委員	<p>恥ずかしながら生涯学習セミナーのことを今年度初めて知ったが、町が主催のセミナーに受講料300円に違和感がある。この受</p>

	<p>講料は必要なのか。昨今の高齢化社会を考えると終活やエンディングノートは興味があると思われる。2講座受けると600円になる。そこで、この受講料300円が高いのか安いのかそれとも無料が良いのか。</p>
事務局	<p>以前、終活セミナーでエンディングノートを実費購入いただいた事がある。</p> <p>今回開催したセミナーは全て300円の受講料を頂いている。それを謝礼に充てることでより良い講師の手配ができる。また、受講料を負担することで講座に対する期待値を上げる仕掛けもある。</p> <p>支払の対価として講座内容を持ち帰っていただきたいという思いから、今後も受講料の徴収を考えている。もしそれが不相当とおっしゃるなら検討したいと考えるが、やはり無料となると申込みだけして当日お越しにならない方が増える危険性もあるので、一部負担という形を採らせていただいた。</p>
委員	<p>エンディングノートなら個人のものになるから当然教材費として徴収するべきものと捉えられるが、セミナーの価値を上げるのが目的なのか、それとも町民に広く学んで欲しいという意図なのか。何を目的として生涯学習セミナーを開催するのかという原点を考えると、個人的にはちょっと腑に落ちない側面もある。</p>
議長	<p>他に何かご質問やご意見は。</p>
(2) 社会教育委員会議発行冊子の作成について	
議長	<p>続いて、議題の2番、社会教育委員会議発行冊子の作成について、事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>資料2「社会教育委員会議発行冊子の作成について」に基づき説明。</p>
議長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何かご質問やご意見は。</p>
委員	<p>これまで作成した3種の冊子は、社会教育委員が中心となり作成した。しかし、社会教育委員自身が作ったのでは意味が薄いという声があった。社会教育委員は仕組みを作ってそれにたくさんの方が参画し作り上げていくべきではないかとの意見があった。</p> <p>そこで、今回大きく変更しようと思った点は、社会教育委員が写真等を撮影するのではなく、皆から写真を募集して冊子を作り上げていくことができないか、というのが出発点であった。</p> <p>それを踏まえて今回写真クラブに写真の提供を願ったところ、要望があれば写真提供はしていただけたとのことであった。</p> <p>写真をどのような形でまとめようかと考えた際に、「風景」ということで、こんな素晴らしい所が広陵町にあるという内容が、一番提供していただいた写真をまとめられるものと考え、「広陵町の風景」という形にしたらどうかと思っている。</p> <p>写真の他、表紙にはスケッチ絵を載せたいと考えており、こちらも町民の方に描いていただきたいと思い、現在知人に依頼を申し承を得たところである。</p>

	<p>資料にあるデザイン案について、提供いただいた写真にコメントをつける事に抵抗がある。提供者が思っていない事をコメントしてもいいのか。風景写真を掲載するのみのでいいのではないか。</p> <p>提供いただいた写真だけでなく、レイアウト上、他の写真も掲載したいと考え、自身で撮影しているものもある。</p> <p>このように、町民の皆さんが撮影したのもあり、社会教育委員が撮影したものもあって、編集をしていくものにしてはどうかと考える。</p> <p>一番難しいのは、始めに方向性が決まっていればそこに向かって作成をするので編集は楽だが、今回は写真を提供いただいた写真クラブと一緒に作り上げていきたいと考えており、その写真を可能な限り使用する方向でストーリーを作っていくと悩む中で原案を作成した。作成工程としては、3月に完成で問題ない。社会教育委員の任期中に、皆で論議し、撮影や編集をし、一冊の冊子を完成させたいという思いがある。</p>
議長	他に何かご質問やご意見は。
副議長	<p>社会教育委員として、作成にあたってこういう目的でやる、というところを整理しないといけないと思う。</p> <p>写真クラブの写真を綺麗に載せるだけでは、写真クラブの写真集になってしまうのではないか。社会教育的に意味合いを持って作成するという芯を一つ決めないといけないと思う。</p>
委員	<p>副議長に同意。</p> <p>まず芯を決めないと難しいと思う。委員が言われたように、テーマが決まってい、ラフで編集内容が決まってい、構成が決まって写真を載せていくというのは確かに簡単である。</p> <p>ただ、そうなると提供いただいた写真クラブの思いが入らない。せっかく提供いただいたのだから思いを入れてあげたい、という気持ちもわかる。</p> <p>しかし、社会教育委員として、何のために冊子を作成するのかを考えて、事務局が作成した資料には写真の場所がどういう所なのかという説明をつけていると思う。</p> <p>折衷案として考えるならば、写真クラブの方達に、自分達だけが知っている綺麗な所などをピックアップしてもらおうか、写真クラブが持っている写真の中から写真を選び、コメントを書ける所を掲載していく形で抽出していくのであればいけるのではないかと考えるが、48ページも埋まるかは懸念するところである。</p>
委員	<p>以前作成された3冊の中から、教員として、小学校3年生の社会科の副教材として使用した「私たちの広陵」にお祭りや風景の写真を使用させていただいた事がある。</p> <p>今回は社会教育委員という立場として、広陵町にはこんな素敵な風景があるということ知らせる、広陵町を好きになってもらうというのが目的であると認識している。</p> <p>全部が写真だと写真集になってしまうので、どうしてもここには説明を入れたい、伝えたい、町民に知って欲しいという所があれば資料のひな形のように説明があっても、なるほどとなると思う。</p> <p>説明がなく、写真だけであれば見ただけで終わってしまうように</p>

	<p>感じる。所々説明があれば興味を引くと思う。</p>
事務局	<p>広陵町の風景を幅広く知っていただくということで、委員から提案いただいた内容だが、今回事務局から提案させていただいた写真にコメントをつけるのは失礼ではないかということについては、これまでの「広陵町の民話」「ふるさとの言葉」「広陵町の祭り」という冊子は、いろんな文化的なこと、いわゆる無形文化財に値するような内容が掲載されているものになってきていると思う。確かに町史を読めば載っているが、町史を読むのはハードルが高い。どこに載っているのか探さないといけない、専門的な文言が載っているのでわかりにくいという問題点がある。そういったツールを使うまでに、子ども達など簡単に知りたいと思う方が手に取っていただいて、レファレンスツールとしてまず活用できるのが今までの3作であるという思いがあった。そのように考えると、単なる風景ではなく、風景とその地域にまつわる説明文を入れることによって、景色とともに知っていただけたらということで、資料にコメント例を入れさせていただいた。</p> <p>そういった面も含めて、検討いただきたい。</p>
委員	<p>社会教育委員会議として作っていくので、皆の意見を聞き、意向に沿ったものを作らないといけないと思う。</p> <p>今まで、「広陵町の〇〇」というシリーズで作成してきて、現在の社会教育委員でも第4作目を残したいという思いがある。</p> <p>社会教育委員だけが作成しただけでは、社会教育委員としての役割としては違うと感じている。社会教育委員が仕掛けをして、そこに皆が集まり、作り上げていく。といった仕組みを作っておかないと、自ら作るだけはいけないという思いがある。これが、前3作品の反省点と考える。</p> <p>前3作品も、全てを社会教育委員だけで作成したのではなく、地域のさまざまな人に話を聞き、論議していただいて作ったものである。ただ、今回の冊子は幅を広げたいと思う。そこで、1年程度の期間で町民と共に作成できるものと考え、今回の写真クラブに写真提供の協力をいただきながら社会教育委員も撮影、編集していくという形であれば思い描いているものができるという考えに至った。</p> <p>今回の形を見本に、次の第5作の作成を考えていってもらえるような仕組みを作っておきたいと思い、今回の冊子作成案を提示した。</p>
議長	<p>いずれにしても、私たちだけで作るのは難しいし、さまざまな方とコラボして作り上げていくという事は必ずやっていかないとけないことだと思うので、今後原案を見ながら、皆で考え、次の打ち合わせ時に意見を伺いたいと思う。</p>
(3) 令和6年度世代間交流事業について	
議長	<p>続いて、議題の3番、令和6年度世代間交流事業について、事務局に説明願う。</p>
事務局	<p>資料3「令和6年度世代間交流事業について」に基づき説明。</p>

議長	ただいまの事務局からの説明について、何かご質問やご意見は。
委員	<p>今年度の12月に行った世代間交流事業の日はとても風が強かった。記憶では開催は12月にせざるを得ない日程であったが、今から内容を練って、ルート歩いてとすると、どうしても日程はその辺りになると思う。今年度の開催が2・3月と考えられているが、ハイキング形式ならば時期としてどうなのか。暖かい日もあると思うが、2月は1番寒い月だと思うので、開催するなら3月、あるいは11月下旬や12月の初めなど、天気のことにはわからないが、早く案を練っていければ、少しでも早く11月などでも開催できるのでは。ただ、11月はスポーツや町主催の行事がある事、12月・1月は慌ただしい時期でもあるので、開催時期は要検討だと思う。</p> <p>いつであれば、参加してもらいやすいのか、内容もさることながら、時期について、ハードルはいろいろあると思うが考えていかなければいけないと思う。</p>
委員	<p>苺がすごく魅力的なので、苺が採れる時期にするのがいいかと思う。</p> <p>その他、運動場で軽スポーツができるようなことも含めたら、苺を採ることと一緒に家族も来てくれたらいいと思う。</p> <p>そのため、苺が採れて、スポーツができる時期にしてもらえれば、子どもも家族もスポーツフェスティバルのように来てもらえたら嬉しいなと思う。</p>
委員	東小学校区は、南郷、百済、広瀬、古寺かと思う。まずは、地域を決めるのに、資料は何故百済になったのか。
事務局	<p>百済を選んだのは、百済寺があり、百済寺三重塔、大織冠と呼ばれる本堂といった歴史的なものが集約化されているため。そういったことをふまえながら設定した。</p> <p>古寺や南郷から回ることも検討したが、東小学校区は見学ポイントとなる地点が点在しているため、歩く距離が長くなるという点がある。</p> <p>同時に、葛城川を渡るとなると、安全確保の観点から歩道橋を渡らざるを得ない。そうなるルートが限定されるという中で検討した結果、百済地域を回っていくのがベストかということで、事務局から案として提示した。</p>
委員	<p>例えば、南郷であれば南郷環濠集落を回ったり、弥勒さん（山王神社）を見たり南郷どんの話をしたり、というようなコースもあるし、百済も百済寺だと魅力再発見には弱いと感じ、他に何かあればいいと思う。</p> <p>苺狩りのような内容は、料金をどうするのか。</p>
事務局	<p>確認をした所は、ビニールハウスがあり、直売所があるお店である。想定としては、昨年度の記念品として菓子安のおだんごをお渡ししたように、一人1粒程度試食いただける分のパック数を購入して準備をし、参加者には食べながら生産者の話を聞いてもらう形である。</p> <p>もし、生産者から摘んでも良いというような話ができるのであれば</p>

	<p>ば、ハウスの一角で体験をしてもらうような想定をしている。</p>
委員	<p>高額な補助をすることが、社会教育委員の行事として良いのか、何千円もするような記念品ではなく、安価な程度のものでいいのではないか。</p>
事務局	<p>記念品は安価に試食程度のもので、広陵町で生産されている品種等の百済地域特有の話を聞いていただき、町民に知っていただくということでコースに入れている。</p>
委員	<p>定員を80人としているが、昨年度の事業の参加者が40人で行ったため、かなり頑張らないといけない。 場所をどこにするかも含めて、一度社会教育委員が現地を歩いて、どういう所があるか実際に見て、よく検討をして地域を決めないといけない。 事務局の提案だけでなく、社会教育委員が主体となれば良いと思う。</p>
事務局	<p>開催地域は東小学校区とさせていただいて、あくまで事務局からの提案は案になるので、南郷であればこういうコース、というご意見があれば提案いただきたい。 何も案がないままご意見を伺っても議論が起こらないと思い、百済を中心とした案を提示させていただいた。 社会教育委員の皆さまの中で、古寺や南郷を巡るということであれば、変えていただくという形で考えている。 あくまで百済地域は例で挙げているもので、決定ではない。委員の皆さまで議論いただきながら、コースに決定や参加方法等について進めていきたいと考える。</p>
委員	<p>前回の反省にもあったように、世代間交流がメインだと思うが、魅力再発見と交流の2つを望んだ事業をする。今年度の世代間交流事業で旗作りをした時は、グループの皆で頭を突き合わせて折り紙をしたり、和気あいあいとしていたように思う。ただ、一旦ウォークラリーに出ると歩いている時に交流ができていなかったとのことで、どうすれば交流できるのか考えた。 知らない人を交えて、一緒にゲームをするのが楽しいのではないかと、そこに地域の魅力を再発見する内容をどのようにタイアップできるのかと考えていた。 今回提案にあった、運動公園での体操や軽スポーツ等、グループで誰でもできる簡単なゲームみたいなものであれば交流が深まるのかなと思う。ただ、そこに重点を置くと魅力再発見の内容ができるのかというところと、前回ははしお元気村という屋内拠点があったが、今回はどこかの公民館を借りないといけないのか、地域が広いからさまざまな検討事項があると思う。 百済であっても南郷であっても、どうしたら交流が深まるようなものができるか、前回の反省を活かしたい。</p>
副議長	<p>皆さんと協力しながら、ということは大事なことである。 また、百済になるかはわからないが、ポイントが少なくなってしまうと感じる。百済寺と苺となると、観光に行っているようになら</p>

	<p>ないか。皆で何かするポイントをどのように入れられるか非常に難しい。</p> <p>苺をウリにすると、時期が限定される。苺の採れる時期に行くと、観光農園でもないので生産者の迷惑になっても困る。もし定員80人として満員の参加者が来た場合、一人ひとりに配るのに出荷が決まっているものを食べてもらわないといけなくなるような状況になっても大変なので、調整が難しいと感じる。</p> <p>本当は、苺なら採って食べるような、何か体験をしてもらったり、参加者皆で一緒にできることと合わせたい。</p> <p>苺は難しいのではと思う。</p>
議長	<p>ストロベリータウン広陵としてキャンペーンをしているぐらいなので、苺を目的にするのは良いのかなと思う。</p> <p>参加者も、食べ物があれば集まりやすいとも思う。生産者のご迷惑ももちろん考えないといけないので、そこは生産者との話し合いになると思うが、河村委員と同じ意見で、ぜひ苺の採れる時期に考えていきたいと思う。</p>
副議長	<p>例えば、一軒だけではなく、ストロベリータウン広陵に参加されている生産者から地域が違っても、持ってきていただいてこんな苺もありますというような、1つの生産者にだけ負担がかかるようなものは避けたいと思う。ルートはどこかで苺に関するポイントを配置する等の上手な工夫がいるのかと思う。</p>
委員	<p>委員がおっしゃっていたが、雨の場合どうするのか。というところも考えていかないといけない。</p> <p>南郷であれば、少なくとも役場を拠点として使えると思う。百済であれば、どこかの公民館を借りるにしても、80人も入れる所があるのかという疑問もある。</p> <p>一度歩いて現地を見ないとわからないことがあるので、今後そうして決めていきたい。</p>
副議長	<p>お手洗いの心配もある。</p>
議長	<p>百済寺にはある。</p>
副議長	<p>それ以降の距離も長いから心配である。</p>
議長	<p>そういったことも含めて、今後実際に歩いて、確認しながら決めていきたい。</p>
委員	<p>開催時期を決めて、逆算してタイムテーブルを作っていけば良い。3月になるのであれば、前回の12月より余裕があるので考えられると思う。</p>
議長	<p>雨の日のことも、今後の打ち合わせで併せて考えていきながら進めていきたい。</p> <p>他にご意見などはないか。(なし。)</p> <p>ないようなので、これにて議事を閉じ、事務局に進行を戻す。</p>

5 事務連絡	
事務局	社協情報第10号の冊子を配布、確認をいただいた。 社会教育委員の報酬について事務連絡。 最後に、会議全体について議長からご講評を賜りたい。
議長	長時間議論いただき、感謝する。 たくさんの議題があった中で、さまざまな課題もたくさん出てきたところである。今後、1つずつ協議して決めていきたいと思う。
事務局	改めて参会への感謝を述べたあと、散会。